

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 01 月 18 日作成)

小委員会名	環境振動評価小委員会	主 査 名：益田 勲 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：横山 裕
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境振動にかかわる最新の研究、および実務の動向に関する情報収集や、国際規準(案)にかかわる審議などを行う。 ・環境振動評価の現状や問題点の把握、および課題の抽出を行い、今後の環境振動評価のあり方を模索するとともに、環境振動に関する性能評価手法の学会会員への普及を図る。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：益田勲（日本交通技術） 幹事：新藤智（法政大学） 委員：横山裕（東京工業大学）、石川孝重（日本女子大学）、濱本卓司（東京都市大学）、野田千津子（日本女子大学）、植松武是（北海道立北方建築総合研究所）、塚越治夫（日建設）、鈴木雅靖（鹿島建設）、花里利一（三重大学）、森下真行（前田建設工業）、内田季延（飛鳥建設）、小泉達也（大林組）、川久保政茂（円石コンサルタント）、松本泰尚（埼玉大学）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/subcommittee2_performance/AIJ_EVSC2index2012.html

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第 31 回環境振動シンポジウム 参加者数 74 名+Ustream5 名 説明性 WT、広域実測 WT より研究報告
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 2010 年に国交省住宅局への環境振動の品確法への適用を提議した。 2. 低周波音(振動)に関する居住性能評価検討WGの設置につなげた。 3. 4 WT の活動成果を第 31 回環境振動シンポジウムに発表した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 品確法への可能性と問題点から、活動のベースとして 4 つのワーキング・チームをつくり、課題点を核としシンポジウム、刊行物をめざし審議してきた。 2. 今後の環境振動評価のあり方を模索することも大きな主題であり、チームを構成した。 ①説明性 WT、②評価 WT、③広域実測 WT、④データベース WT であり、進捗に伴い他の小委員会、WT と協働しながら進捗させてきた。 3. チームの成果は、この小委員会の「要望と提案」という形で、次世代に残せるものにする。
委員会活動の問題点 ・課題	

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2012 年度 小委員会活動 自己評価 (最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>本小委員会は、環境振動評価の現状や問題点の把握、および課題の抽出を行い、今後の環境振動評価のあり方を模索することを主目的としている。</p> <p>そのため、議論のテーマを大きく4つに選別し、①説明性 WT、②評価 WT、③広域実測 WT、④データベース WT のワーキング・チームに分け、討議したことにより主旨の明確性、討議のし易さが得られ、次に伝えるべき研究シーズの抽出に役立てることができた。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。

